

小平市公共施設マネジメントニュース

平成31年1月号

第1部 第3回 中央・小川デザインカフェ ～次の世代の施設を考えよう～

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

中央・小川デザインカフェ（ワークショップ形式）では、参加者同士でリラックスした雰囲気の中、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの各テーマについてアイデアを出していきます。

市では、市民参加などを経て平成31年秋を目途に新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【参加状況】平成30年12月22日（土）

① 中央公民館周辺エリア：福祉会館 小ホール	9時30分～正午	20名
② 小川駅周辺エリア：小平第六小学校 多目的室	14時～16時30分	15名

【中央デザインカフェ】



テーマ：公共空間の価値創造提案を考えよう

全体進行：前回のグループ意見などの振り返りを行い参加メンバーで情報共有した後に、グループごとにワークをし、発表を行う。

ワーク①：「誰もが使いやすい施設としての工夫を考えよう」「利用者にとっての魅力を考えよう」「新建物を長期的に維持していくための工夫を考えよう」のテーマについて意見交換とアイデア出しを行う。

ワーク②：ワーク①で出した意見等を踏まえて新建物のコンセプトを考える。

ワーク③：説明係（所属グループのアイデア等の説明）と情報収集係（他のグループのアイデア等を情報収集）に分かれて各グループのアイデアを共有する。

ワーク④：他のグループの情報を踏まえてグループとしての提案をまとめ、発表する。

【小川デザインカフェ】



テーマ：公共スペースのあり方考えよう②

全体進行：前回のグループ意見などの振り返りを行い参加メンバーで情報共有した後に、グループごとにワークをし、発表を行う。

ワーク①：前回、各グループで考えた図書館・公民館・広めの多目的室に関するコンセプトに合うように、フロアの各機能の配置についてゾーニング案を考える。

ワーク②：説明係（所属グループのアイデア等の説明）と情報収集係（他グループのアイデア等を情報収集）に分かれて各グループのアイデアを共有する。

ワーク③：他のグループの情報を踏まえて、改めてグループとしてのゾーニング案を考えて、発表する。

各グループの主な意見は裏面にまとめていますので、ご覧ください。



主 な 意 見

【中央デザインカフェ「公共空間の価値創造提案を考えよう」】

『コンセプト』「誰もが使いやすい施設の工夫」、「利用者にとっての魅力」、「長期的に維持していくための工夫」

Aグループ『22世紀につながる建物』

- ・案内モニターにより部屋等の空き状況が確認でき、使いやすいトイレ、エスカレーター等を設置してはどうか。
- ・施設の予約・料金支払が簡単にできる環境を整備し、送迎バスなどによりアクセスを良くしてはどうか。
- ・ネーミングライツや営利企業への施設貸出により収入を得るとともに、維持管理しやすい建物にしてはどうか。

Bグループ『フラットホーム』（ふらっと立ち寄れる、フラットで誰でも使いやすい、収支も工夫してフラットに）

- ・バリアフリーに配慮するとともに、空間をパーティションで区切れるなどフレキシブルな建物にしてはどうか。
- ・オールナイト・年末年始も開放して施設をフル活用し、利用者の活動が発信できる建物にしてはどうか。
- ・企業からの広告収入や、バザーやマルシェを開催し、参加者から出店スペース代などを得てはどうか。

Cグループ『小平コム（COME、コミュニケーション、COM）』

- ・世代を超えて誰もが使いやすいバリアフリーにし、また芸術や自然を大事にすると良いのではないかと考えた。
- ・高層階に付加価値のあるものを設置し、低層階への人の流れで、他の階にも立ち寄れる建物にしてはどうか。
- ・掃除しやすく維持管理にメリットがあるようにしてはどうか。

Dグループ『みんなでニコニコ、健康づくり、笑顔が集まる広場、笑顔でつながる広場、居心地のいい新建物、ゆるい場所』

- ・音声案内、点字ブロック、エスカレーター等を設置し、可動間仕切りで効率的なスペースを創出してはどうか。
- ・高齢者の居場所づくり、総合案内窓口の設置、交通アクセスを充実させると良いのではないかと考えた。
- ・経費を「見える化」し、バザー等の場所代を得つつ、利用料金を有料にしてサービスを充実させてはどうか。

【小川デザインカフェ「公共スペースのあり方を考えよう②】

「図書館機能、公民館機能、広めの多目的室機能のコンセプトに合った各機能のゾーニング案を考える」

Aグループ

- ・全体として「本がつなぐ」をコンセプトとして、本が色々なところにあり各機能と混じり合うと良いと考えた。
- ・4階は北側に事務スペースなどの行政機能を、東側には公民館機能・市民活動スペースを、西側は図書館機能として、5階は北西側に広めの多目的室機能を、南東側には小ホールを配置してはどうか。

Bグループ

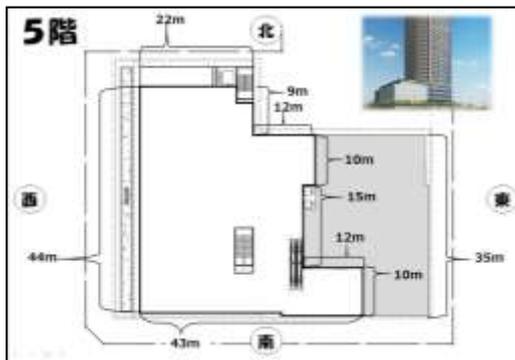
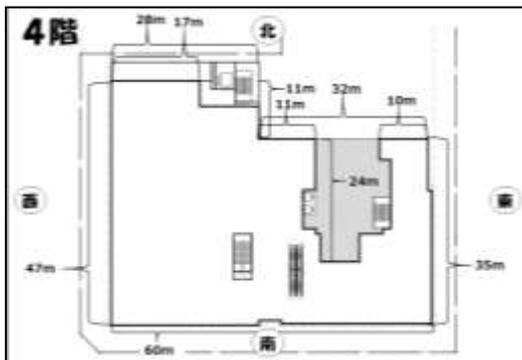
- ・全体として通路を広くし、障がい者などが通りやすい空間とすると良いと考えた。
- ・4階は東側に子どもを意識した図書館機能・作業スペースを、西側には大人を意識した公民館機能・カフェを、5階は北西側に音楽会などを行える広めの多目的室機能を配置してはどうか。

Cグループ

- ・全体として、4階を「静」ゾーン、5階を「動」ゾーンとすると良いと考えた。
- ・4階は総合案内窓口と行政機能、図書館機能とコーヒーが飲めるスペースを、5階は富士山が見られるように西側に広めの多目的室、東側に公民館機能、市民活動ゾーンを配置してはどうか。

Dグループ

- ・全体のコンセプトは「交差点（店）」で、本に囲まれつつ映像鑑賞等を可能とすると良いと考えた。
- ・4階は図書館機能、ギャラリー、東側に音楽ができる防音の小ホール機能、西側に勉強できる自習室、南西側に子ども向けのスペースやカフェなどを、5階は全体的に大人向けの空間とし、北西側に広めの多目的室機能、その近くに公民館機能、市民活動ゾーン、南東側に行政機能を設置してはどうか。また、各階に総合案内窓口を配置してはどうか。



グループワークで使用したワークシート

【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

